

暗殺者——時代の闇に蠢いた
彼らの夢見た世界とは……

「明治の石」 幕末最大の謎である事件。すべてが闇に包まれようとしていた陸軍将校がその命を懸けて謎に挑む。病死なのか毒殺なのか、そしてその動機は？

誉田龍一「天が遣わせし男」 「龍馬暗殺」

その言葉は、歴史ファンのみならず人々の心を今も捉えて離さない。そんな日本史上最も有名で、最大のミステリーであるこの暗殺事件を実行者側から描く異色作。ご期待下さい。

文久三年四月……天誅の嵐が吹く京都から江戸へ戻ったばかりの幕臣・佐々木只三郎は、会津藩の重臣に注文に見え、手代木直右衛門から密命を受ける。将軍警護の浪士組を献策しておきながら、京で幕府を裏切った清河八郎を暗殺しろというのだ。出羽の郷士であり、市井の儒学者にすぎなかった清河八郎は、なぜ尊攘活動に奔ったのか？ 主君を持たない郷士に士道はあるのか？ そして、清河暗殺を引き受けた佐々木只三郎の士道とは？

水戸藩士・黒澤忠三郎は友人の菅原彦右衛門と共に、“西洋式のリボルバー銃の買い付け”という藩命のために奔走する。その後、忠三郎は順調に出世し、彦右衛門はリボルバー銃複製の責任者につくのだが、時は折しも幕末、風雲急を告げる時代のうねりが、二人にもひたひたと迫りくるのだった……。二つの青き志はどこに流れゆくのか。

幕末 × 青春物語、ご期待ください。

そうこ
操觚の会とは？

歴史小説界に風穴をあけんとする作家集団です。
新しい歴史小説を模索、構築しようと活動しています。
会員は16名。各種イベントや講演会を定期的に行い、
SNSなどで情報発信をしています。

操觚とは、古代中国で文字を書くのに用いられた「觚」という木札を「操」る、すなわち文筆業の意で、その語感が会にふさわしいと命名しました。

Twitter <https://twitter.com/rekishijidai>

Facebook <https://www.facebook.com/rekishijidainovel/>

随時更新、情報発信しています。お気軽にフォローしてください。
2018/1/10

2018/1/10

谷津矢車 誉田龍一

早見俊

幕末

幕末史の暗部に
実力派作家
7人が挑む

書き下ろし
短編集作

板本龍馬暗殺
油小路の毒殺
佐々木小次郎暗殺
清八郎暗殺
坂田門外の変

新美健
秋山香乃
鈴木英治
神家正成

幕末暗殺

著者：吉川 英治、新美 健、秋山 香乃、鈴木 英治、神家 正成、板本 龍馬、油小路 小次郎、清八郎、佐々木 小次郎

出版社：中央公論新社
価 格：1600 円＋税
単行本：312P
1/19 発売

操觚の会
初のアンソロジー

操觚の会精鋭7名が
幕末の暗殺を紡ぎます！

安政7年 万延元年(3月18日) 1860年 井伊直弼 大老 桜田門外の変 水戸藩士 東澤忠三郎ら	文久3年 1862年 第一次東禪寺事件 坂下門外の変 吉田東洋 土佐藩参政 寺田屋事件 第二次東禪寺事件 島田左近 九条家家士 井上佐一郎 土佐藩下横目 本間精一 越後浪士 堀忠室 加藤甲次郎 和学者 伊藤俊輔ら	文久3年 1863年 殿内義雄 壬生浪士組 足利三代木像鼻首事件 姉小路公知 公家 清河八郎 出羽庄内郷士 佐伯又三郎 新選組隊士 天誅組の変 八月十八日の政変 芹沢鴨 平山五郎 新選組局長 隊士 近藤勇 土方歳三	文久4年・元治元年(2月20日) 1864年 天狗党の乱 内山彦次郎 大阪町奉行与力 池田屋事件 平岡四郎 一橋家家老 佐久間象山 松代藩藩士 第一次長州征討 中山忠光 尊攘派公家 元治2年・慶応元年(4月7日) 1865年 大井善吉 土佐藩親藩浪士 新選組 長州藩俗論党	慶応2年 1866年 薩長同盟 谷三十郎 新選組七番隊長 第二次長州征討 第十四代将軍徳川家茂 死去 幕府御家人 中村半次郎ら 京都見廻組? 大石弥次郎ら	慶応3年 1867年 武田観柳斎 新選組五番隊長 原市之進 水戸藩士 一橋家家臣 赤松三郎 上田藩士 軍学者 大政奉還 坂本龍馬 中岡慎太郎 土佐藩士 藤堂平助 毛内有之助 元利運組で 御陵衛士 王政復古の大王令 鳥羽・伏見の戦い 江戸城無血開城 明治2年 1869年 横井小楠 参母 箱館戦争終結 大村益次郎 兵部大輔 明治11年 1878年 大久保利通 内務卿 明治42年 1909年 伊藤博文 貴族院議員 安重根
--	---	---	--	--	--

国の岐路に立った男たちの史上もっともタブーなプロジェクトが始動する。実行者は二重、三重に間者をつとめる男。新選組でも、二の剣の腕を誇る斎藤一。ころえたる生活の中、それでも友と呼べる男があった。裏切ったのは、俺か、あいつか。死闘の末に斎藤が辿り着いた場所とは――。『裏切者』から18年。今、再び同じタイトルで臨む『裏切者』。おれは俺だ。おれは俺だ。

兄と慕っていた宮部鼎蔵が、京の池田屋で新選組に討たれたとの報を受けた河上彦斎は、鼎蔵の弟春蔵とともに周防山口を発ち、京に向かう。仇討ちの相手が、新選組副長土方歳三。京で土方と邂逅する彦斎と春蔵。果たして仇討ちは成就するのか。そして、彦斎が、天下の傑物佐久間象山を斬ることになったいきさつとはなにか。新たな人物像で世に河上彦斎について期待させられ

幕末、天誅の名の下に数多の暗殺が行われました。殺された者、殺した者、暗殺の数だけ人間ドラマがあります。殺された者が非業の死を遂げたのは当然として、殺した者も不遇の人生を歩んでいます。ところが、ただ一人、暗殺を飛躍台として栄達を果たした伊藤博文。そんな彼にも因果は巡り、彼自身も暗殺者の手にかかり非業の最期を遂げます。時空を超え、暗殺者となった若き日の伊藤俊輔と暗殺者の標的となった伊藤博文の運命の時を描きます。

幕末暗殺地図

京都

満州ハルビン駅
伊藤博文

江戸

塙忠宝

井伊直弼

清河八郎

坂本龍馬

藤堂平助

大坂

- | 件数 | 年 | 天皇 | 備考 |
|-----|-------|-------------|------------|
| 1件 | 1858年 | 安政5年 | |
| 2件 | 1859年 | 安政6年 | |
| 4件 | 1860年 | 安政7年 | 陸奥 |
| 2件 | 1861年 | 万延元年(3/18~) | |
| 22件 | 1862年 | 文久元年(2/19~) | |
| 55件 | 1863年 | 文久2年 | 陸中 |
| 34件 | 1864年 | 文久3年 | |
| 10件 | 1865年 | 文久4年 | 羽後 |
| 10件 | 1866年 | 元治元年(2/20~) | |
| 18件 | 1867年 | 元治2年 | 慶応元年(4/7~) |
| 11件 | 1868年 | 慶応2年 | |
| | | 慶応3年 | (9/8 改元) |
| | | 明治以降 | |
- 斬殺
■ 毒殺
■ 銃殺
■ 変・乱・事件

